

日韓共同研究シンポジウム

「日韓における穀物栽培の開始と農耕技術」

【主催】 山梨県立博物館・山梨県考古学協会

【日時】 平成25年8月25日（日）

午前10時～午後5時

【会場】 山梨県立博物館 生涯学習室

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1501-1

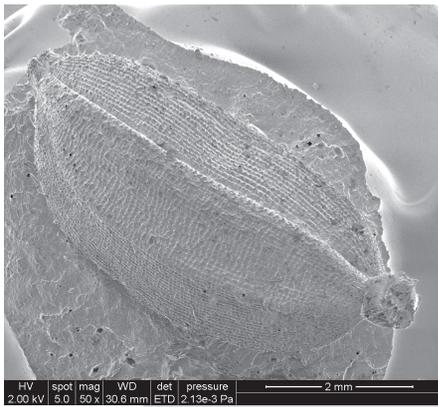
TEL. 055-261-2631 FAX. 055-261-2632

【開催趣旨】 山梨県立博物館では、日本列島の農耕の起源を求めて、日韓の研究者と共同で、日本及び韓国内における調査・研究を行ってきました。

本シンポジウムでは、その研究成果を紹介し、日韓の穀物栽培の開始と農耕技術について考えていきます。

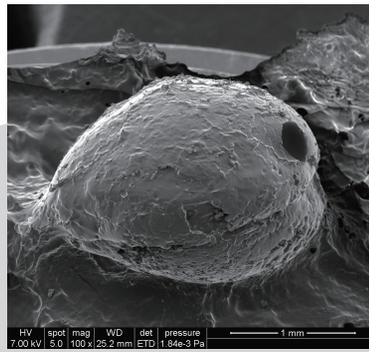
【日程】

- | | | |
|-------------|--------------------------|----------------------------------|
| 10:00-10:05 | 開会のあいさつ | |
| 10:05-10:15 | 趣旨説明 | 中山誠二（山梨県立博物館） |
| 10:15-10:45 | 紀元前6千年紀から紀元前後までの日韓編年対比 | 庄田慎矢（奈良文化財研究所） |
| 10:45-11:20 | 日韓における栽培植物と穀物農耕の開始 | 中山誠二（山梨県立博物館） |
| 11:20-12:00 | 韓国新石器時代から青銅器時代の集落の特徴と変化 | 俞 炳 瑑（ウリ文化財研究院） |
| 昼 食 | | |
| 13:00-13:40 | 韓国新石器時代から青銅器時代の農耕関連遺跡 | 金 炳 燮（慶南発展研究院） |
| 13:40-14:10 | プラント・オパール土器胎土分析からみた雑穀の利用 | 外山秀一（皇学館大学） |
| 14:10-14:40 | 韓国新石器時代から青銅器時代の石器使用痕分析 | 原田 幹（愛知県教育委員会） |
| 14:40-15:10 | 日本内陸地域の縄文集落と生業構造 | 佐野 隆（北杜市教育委員会） |
| 15:10-15:40 | 西日本-突帯文土器分布圏-における栽培植物の出現 | 浜田竜彦（鳥取県立むきばんだ史跡公園）
中沢道彦（長野県） |
| 休 憩 | | |
| 15:50-16:55 | 討 論 | 司 会 植月 学（山梨県立博物館） |
| 16:55-17:00 | 閉会のあいさつ | |



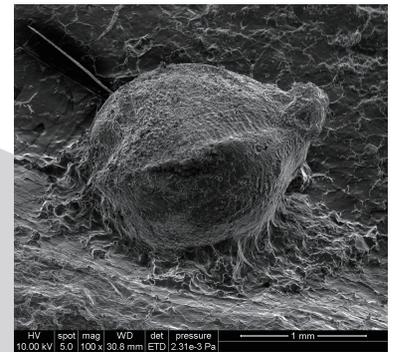
イネの圧痕

(韓国松竹里遺跡：青銅器時代前期)



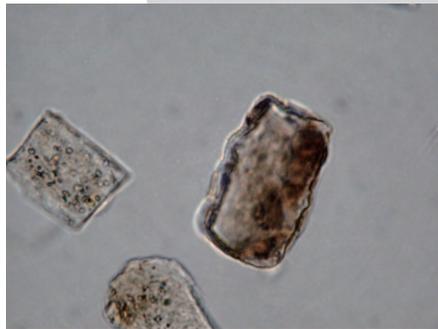
キビの圧痕

(韓国石橋里遺跡：新石器時代中期)



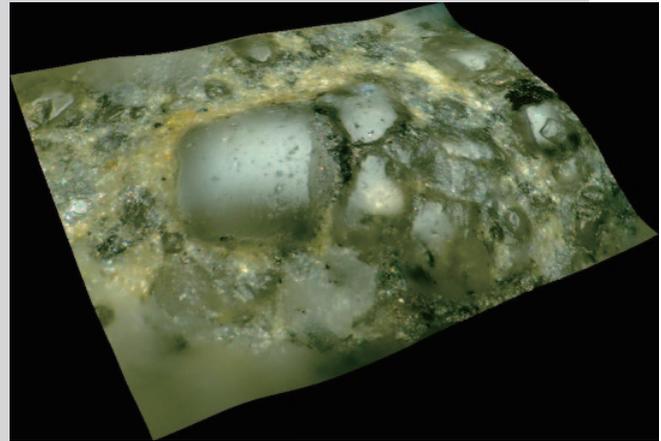
アワの圧痕

(山梨中道遺跡：縄文時代晩期末)



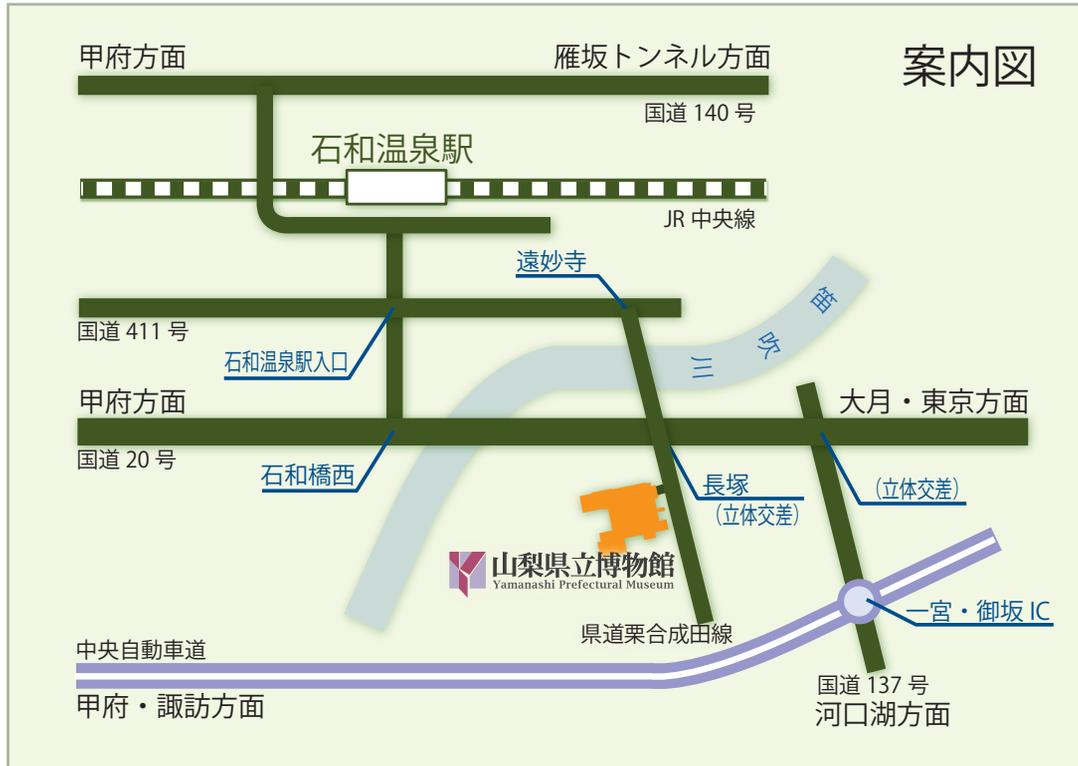
キビ族型のプラント・オパール

(韓国サルレ遺跡：新石器時代前期)



石刀刃部の使用痕跡顕微鏡写真

(韓国大平里遺跡：青銅器時代前期)



■交通

【鉄道でお越しの場合】

○JR中央線 石和温泉駅 (最寄り駅) からバス又はタクシーで約10分

○JR中央線・身延線 甲府駅からバス又はタクシーで約30分

【車でお越しの場合】

○中央自動車道 一宮御坂ICから車で約8分

※バス時刻表等の詳細については、「山梨県立博物館」のホームページをご覧ください。